

## 各委員会審査の主のもの（抜粋）

平成22年第5回天草市議会定例会（12月）

### 【総務企画委員会】

議第173号の「天草市国民健康保険税の一部を改正する条例の制定について」がとくに、審査対象になっている。本件については、医療給付金が増加傾向にある中、国保税の値上げをしなくてならなかったが、これまでは、被保険者の負担を抑えるために、合併当時各市、町より落ち込んだ13億円の国保財政調整基金を繰り入れて対応してきたが、22年度には同基金が底をつき、運営ができなくなったことから改正に至った。本来であれば、約50%の値上げが必要であるが、国保事業の中期財政計画を基本として、必要な試算額、一般会計からの繰り入れについての見直しをはかり、地域性、社会情勢、並びに国保健康保険運営協議会の答申を踏まえ、今回約10%以内の値上げをすることになった。委員会では、一般会計からの繰り出しについては、今後も慎重を期すようにと意見があった。

### 【市民環境委員会】

天草市病院事業会計補正予算で、新和病院の患者送迎業務委託料についての審査で、現在では、公立・民間を問わず多くの病院・診療所で送迎を行っているとのことであったことから、牛深市民病院でも必要ではないかとの意見が出た。現在、地元医師会とも協議しながら患者へのアンケート調査を実施し運行の方法等についても検討をしているとのことであった。

議第209号の「天草市水道事業会計補正予算」で、企業債償還金が2,560万円増加したことについてただしたら、本町栢の原地区における水道事業に係る出資金とのことであった。各水道施設におけるダムの貯水貯水率等の報告によると、亀川ダムで77%、牛深のヤイラギダム第1・2を併せて66%。貯水率が60%をきった時点で渇水対策本部を設置検討しているとのことであった。

### 【建設経済委員会】

議第178号「天草市本渡水産物荷さばき施設条例の制定について」で、委員会では、施設の利用者についてただした。説明によると、利用者は専ら、漁業者、卸売業者、仲買人等であるが、本施設は、衛生的にも十分配慮し、食の安全・安心を確保していくことから、広く住民の福祉に寄与するものとのことであった。

また同施設の指定管理に関する事で、議第189号を審査した。指定管理者に「天草漁協協同組合」を指定し公募をしなかったことについて、説明では、本施設は現在の本渡地区水産物荷さばき施設の老朽化に伴う建て替えて計画がされており、「天草漁協」は、本渡地区ですいさんぶつこの地方卸売市場の許可を有し荷さばき施設の適切な管理運営の実績もあることから公募をしなかったということであった。

請願第7号「戸別所得制度の見直しと農業再生・食料自給率向上に関する請願書」の不採択については、請願内容が、今議会において提出された「TPP交渉参加に反対する意見書」の内容に大方包括されており、国の情勢等を踏まえれば、ここで新たに意見書を出す必要はないとの判断より、不採択とした。

### 【文教厚生委員会】

美来プラザが本渡南公民館になることから、社会教育施設になるため営利目的の利用はできなくなる。そのため、市民センターやポルト等を案内しているとのことであった。

楠甫保育所の廃止について説明によると、地域住民を始め、特に保護者や関係者の了解は得ている。現在園児が8名であり今後の増加の見込みもなく、同年代の児童と集団生活を送る環境を整備することが大切であるとの判断をした。

